

1 緑中学校区学校運営協議会組織について

- ・清川村学校運営協議会規則第7条により、新たに山口理恵さんを副委員長に選任する。

2 各学校・園から今後の予定についての説明

3 熟議

<熟議のテーマ>

「学校に気安く来られるようにするには、どうすればよいか？」

<各グループでの熟議の記録>

【現状】

- ・学校に用事があるとき、学校から呼ばれているときは行きやすい。
- ・相手に都合があると思うと行きづらい。
- ・(児童生徒の安全のため) 門扉も閉まっていると、心理的・物理的なハードルがあり、入りづらい。
- ・授業中ではないかと心配になってしまう。
- ・日中は働いているので、そもそも厳しい。

【具体策】

- ・学校、園便りや防災無線を活用して、学校行事や学習活動の具体的な内容を地域に知らせる。
(例)「〇日〇〇時より、〇〇〇〇が行われます。」
- ・地域の人が集まって活動できる部屋を設置する。(入口に近くて入りやすい場所。お茶を飲みながら、ちょっとした相談ができる場所。) また、車でも行きやすいように、駐車場を確保する。
(例) 緑中の相談室の半分をベースキャンプ(基地)にする。
- ・参観ウィークを設定する。授業も「見学」だけでなく、児童生徒と共に「参加」してもらおう。
- ・昼休みや業間休みなどに児童生徒と一緒に活動する時間をつくる。
(例) 竹馬や一輪車など「地域の方と遊ぼう会」、緑小のPCルームに駒などを置いて「昔遊びルーム」、夏季休業中に「ラジオ体操」
- ・PTAを中心に地域のつながりを広げる。親世代、祖父母世代とつながりを広げる。
SNSを活用して、人材バンクを。
- ・CSメンバーが青龍祭など地域の行事に参加し、学校運営協議会の存在や内容を地域に伝える。
- ・学校や先生方への負担にならないよう、教師を度外視して地域が中心となって活動する。
- ・幼小中一貫校に向けて、学校の要望だけでなく、子どもにも要望を聞いてみる。